

鈴木 真吾(Shingo SUZUKI)個展 「手のひらを太陽に」



「あの素晴らしい愛をもう一度(仮題)」プレスのための参考写真
素材：マッチ(約1200本)

拝啓、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

コマンドNが運営するプロジェクトスペースKANDADA(カンダダ)では、2007年7月6日(金)より、鈴木真吾の個展「手のひらを太陽に」を開催いたします。

コマンドNのメンバーでもある鈴木真吾は、マスとミニをテーマに作品を制作し、社会と個人の関わりを提示する作品を展開してきました。今回のKANDADAでの展示は、私たちが普段何気なく目にするモノ(マッチ棒、紙幣、結束バンドなど)や、小さな玩具(チェンリング、パーラービーズ)のパーツなどを「集める」「並べる」「繋げる」「重ねる」などの行為によって作品化し、ミニマルでシニカルな空間をつくります。

繋げてお手玉やネックレスなどを作るカラフルなプラスチックの輪、チェンリング。子供の頃に流行したそのチェンリングを無数に繋げてつくった太陽をイメージさせる球体の作品や、何千本ものマッチでできた球体の作品。また1円玉のミラーボール、アイロンビーズで綴られた10m以上にも及ぶ円周率の作品、紙幣でつくられた折り鶴などの新作を展示予定です。本展では未来への「やさしい社会」へむけて社会と個人のフラクタルな関わりを考察します。一見複雑に見える世界は、案外簡単な構造によって解釈されるのかもしれませんが。

つきましては本展の告知活動に是非ご協力賜りますよう、ご案内申し上げます。

敬具

本展に関する問い合わせ

アーティストイニシアティブ コマンドN(担当: 宍戸遊美、藤澤香世)

事務所: 千代田区神田錦町3-9精興社1F プロジェクトスペースKANDADA内

tel: 03-3518-6176 fax: 03-3518-6177 E-mail: kandada@commandn.net

commandN 

鈴木 真吾(Shingo SUZUKI)個展「手のひらを太陽に」

展覧会概要

鈴木真吾(すずきしんご)個展 「手のひらを太陽に」

開催日時： 2007年7月6日(金)～7月28日(土)
12:00～19:00
日・月・祝日は休廊

会場： プロジェクトスペースKANDADA
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-9精興社1F
HP：<http://www.commandN.net> E-mail：kandada@commandn.net
TEL：03-3518-6176 FAX：03-3518-6177

アクセス： JR線：御茶ノ水駅より徒歩20分
営団地下鉄東西線：竹橋駅1b出口より徒歩3分
都営三田線・新宿線、営団半蔵門線：神保町駅A9出口より徒歩3分

入場料： 無料

展示作品： インスタレーション
(立体作品など、約6点を予定)

主催： アーティストイニシアティブ コマンドN 

助成： 芸術文化振興基金 

協賛： 精興社  SEIKOSHA PRINTING CO., LTD.

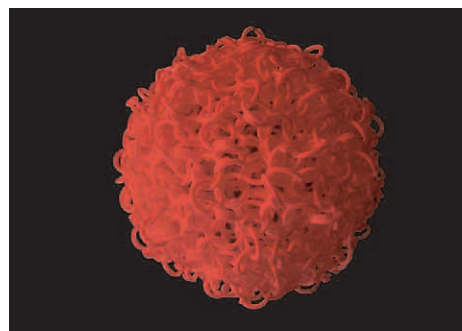
関連イベント

Powwow/038/鈴木真吾
アーティストを交えたトークセッション(予定)
(詳細は追ってHPに記載します)

日時： 2007年7月20日(金) 18:30～20:30
参加費： 1ドリンク&1フード付 一般1500円、学生1000円



「千の折り鶴プロジェクト(仮題)」プレスのための参考写真
素材：千円紙幣



「手のひらを太陽に」プレスのための参考写真
素材：チエンリング



「終わらない歌をうたおう」プレスのための参考写真
素材：ハーレーピース



「手をつなごう みんなで手をつなごう」プレスのための参考写真
素材：結束バンド

鈴木 真吾(Shingo SUZUKI)個展「手のひらを太陽に」

作家プロフィール

鈴木 真吾 (Shingo SUZUKI)

1966年神奈川県生まれ。

多摩美術大学グラフィックデザイン専攻卒業。現在、東京都在住。

マスとミニ（またはマキシマムとミニマム、マクロとミクロ）をテーマに作品を制作し、社会と個人の関わりを提示する作品などを展開する。「秋葉原TV」「スキマプロジェクト」などの展覧会を企画し、プロジェクトスペースKANDADAを運営するアーティストイニシアティブ コマンドNのメンバーでもある。

人に曖昧な記憶だけでミッキーマウスを描いてもらい、それをギャラリーに設置したFAXで受信する [P・MOUSE CONTACT] (1994年)、歌舞伎町の電飾の渦の中にフラッシュする派手な蛍光電飾看板を取り付け、目立てば目立つほど街と同化してしまうパロディクスを強調した [電飾カモフラージュ] (1994年)、展覧会を構成する最低限の要素「ギャラリー、個人、美術、DM」で、最低限の情報を載せた3200枚の白いDMをギャラリー壁面に貼り反復させるインスタレーション [CUBICLE] (1997年)、トミカ(ミニカー)の不揃いの縮尺率に着目し、スケールの変化によっておこる価値基準の変異をペイントしたミニカーコレクションの展示という方法によって表現した [VALUE] (1998年)。

「1/1」(1999年)では人生ゲームのコマ(車に乗った14mmの人型のピン)を等身大に拡大した作品を創り「最高の所得者がゲームの勝者」という資本主義経済の一元的な価値観に警鐘を鳴らした。そして2001年から行っている広告とアートを考える「AAA Project」ではビルの隙間にアート関係専門の広告を設置したり、192ヶ国の国旗のをイラストレータのベクトルデータで重ね合わせたポスターをデザインし、アートの社会的な機能や存在を探る。

またWEB上の展覧会「Desk Top Salon」(2002年)では、『

と美術』をテーマに様々なジャンルの人にコラムを依頼し、一見アートと関わりのない物語の中から日常におけるアートの在り方を探るプロジェクトも展開した。



Desk Top Salon 2002年



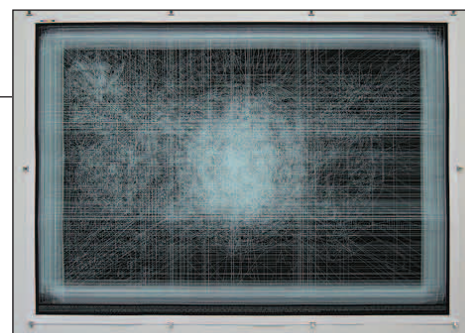
P・MOUSE CONTACT 1994年



CUBICLE 1997年



1/1 1999年



AAA Project 2005年

鈴木 真吾(Shingo SUZUKI)個展「手のひらを太陽に」

展覧会歴

個展

- 1994 「P・MOUSE CONTACT」ギャラリーなつかb.p/ 東京、銀座
- 1996 「鈴木真吾美術展」アーティスト・ネットワーク・ギャラリー/ 神奈川、横浜
- 1997 「CUBICLE」ギャラリーなつかb.p/ 東京、銀座
- 1998 「VALUE」GALLERY 360° / 東京、青山
「1/1」command N/ / 東京、上野
- 1999 「LOOP POOL」FREE SPACE 3/ 東京、青山
- 2002 「DTS / Desk Top Salon」FADs art space/ 東京、国立
- 2007 「手のひらを太陽に」プロジェクトスペースKANDADA/ 東京、神田（開催予定）

グループ展

- 1993 「THE GINBURART」東京、銀座全域
- 1994 「新宿少年アート」東京、新宿歌舞伎町全域
「ニュートラ」目黒区民ギャラリー、東京、目黒
- 1995 「チェンマイ・ソーシャル・インスタレーション」チェンマイ全域、タイ
- 1999 「秋葉原TV」東京、秋葉原電気街全域（ Rとして参加）
- 2000 「コマンドN」SCAI THE BATHHOUSE/ 東京、谷中
「秋葉原TV2」東京、秋葉原電気街全域（ Rとして参加）
「スキマ・プロジェクト」command N/ / 東京、秋葉原
- 2001 「CNT」（NiCAF 2001 Tokyo）東京国際フォーラム/東京、有楽町
「東京ラビットパラダイス」（Tokyo Life）セルフリッジ/ ロンドン、イギリス
「スキマ・プロジェクト_02」東京、秋葉原・神田・谷中地区
「Neo Tokyo」シドニー現代美術館/ シドニー、オーストラリア
「Animations」P.S.1 MoMA/ ニューヨーク、アメリカ（ Rとして参加）
- 2002 「秋葉原TV3」東京、秋葉原電気街全域（ Rとして参加）
「1 Minute Biennale」ウトレヒト市美術館/ オランダ（ Rとして参加）
- 2003 「地雷展2」FADs art space/ 東京、国立
「SHINXUS multiple」Gallery TEZZ/ 東京、元麻布
- 2004 「Tokyo Rabbit Paradise at Careof Milano」Careof/ ミラノ、イタリア
「AUTONOM IST NOCH NICHT EINMAL DER MOND」ACCギャラリー/ ドイツ、ワイマール
「マダンTV_千葉中央～」千葉市美術館、中央銀座商店街、栄町通り商店街、アートフロア/ 千葉
- 2005 「KANDADA / Project collective_commandN」プロジェクトスペースKANDADA/ 東京、神田

参考URL

- 鈴木真吾 ART WORKS <http://www001.upp.so-net.ne.jp/magnet/art/>
- DTS (Desk Top Salon) <http://www002.upp.so-net.ne.jp/magnet/dts/>
- コマンドN <http://www.commandN.net/>

